

ひめまつ

75



宇都宮短期大学附属高等学校生徒会

表紙のことば

このたび、私の作品が「ひめまつ」の表紙に選ばれたことを、たいへん嬉しく光栄に思います。

今年は、新型コロナウイルスの影響により、学校に行く日数が例年よりも少ない年でした。私は、この表紙のデザインを考えている時、これからの未来が明るくなって欲しいという願いを込めて、虹を取り入れました。

これからも明日への希望を胸に、それぞれが成長していければと思っています。

生活教養科

三年十七組 高村 美咲

このたびは、私の作品が「ひめまつ」の表紙を彩ることができると、大変嬉しく光栄に思います。

令和ということで、私が描いたのは人物のみなのですが、きれいな背景画と見事に合わさっており、とても感動しました。

昨年は新型コロナウイルスの予防のため、きゅうくつでストレスを感じる一年でしたが、今年は気分を入れ替え、清々しい気持ちで日々を過ごせることを願っています。

情報商業科

一年十九組 森田 佳恋

ひめまつ
目次
第七十五号

表紙……高村 美咲・森田 佳恋
校歌
題字……石川 木魚
生活目標

グラフ
「創立百二十周年記念学校祭」[写真部作品]

論説

「MICE未来都市・宇都宮」への期待……………校長 須賀英之……………1

特集

●「世界水準」で学ぶ！ ～宇都宮短期大学附属高校のグローバル教育～……………4

●創立百二十周年記念学校祭 ～普通科展示コンテスト～……………5

●調理科講師・安野耕造先生が「厚生労働大臣表彰」受賞……………5

トピックス……………6

難関大学合格・一日体験学習・SDGsセミナー

在校生の活躍……………7

手を差しのべる勇気・調理科おせち・サッカー部

声 須賀学園

2021

創立百二十周年を迎えて

.....

創立百二十年を迎えて

創立百二十年を迎えて

自分をみつめなおして

仲間の存在

三年間の軌跡

逆境を味方に

一年 四組

吉岡 美歩

一年 二十一組

佐藤 莉名

二年 二組

白川 優香

二年 二十二組

菅野 真央

三年 五組

石川 かほ子

三年 二十五組

川田 美遥

令和二年度 校内読書感想文コンクール入賞者

.....

心に強く響くもの

校内読書感想文コンクール入賞作品

.....

【第二学年の部】校長賞

第一位 新海 誠著「秒速5センチメートル」を読んで

二年 十組 蛭名 幸奈

第二位 キム・スヒョン著「私は私のままで生きることにした」を読んで

二年 一組 市村 紗也

第三位 カフカ著「変身」を読んで

二年 七組 藏持 ル都子

【第一学年の部】校長賞

第一位 本田 晃一著「半径3メートル以内を幸せにする」を読んで

一年 十二組 山菅 心結

第二位 井上 景著「行列のできる児童相談所」を読んで

一年 一組 萩原 優季

第三位 井伏 鱒二著「黒い雨」を読んで

一年 十一組 長塚 希汐

各種コンクール入賞作品

【宇都宮税務署「税に関する高校生の作文」】

宇都宮税務署長賞

【下野新聞社主催 第十七回「新聞を読んで」感想文コンクール】

優秀賞

二年 十組 根岸 莉沙

二年 一組 茅場 千怜

あとらんだむ 生徒作品集

【一年間の反省と二年生になる抱負】

旧・一年 一組 田野辺 真央

旧・一年 二組 野村 怜生

旧・一年 六組 大久保 歩歌

旧・一年 十六組 森下 紗帆

旧・一年 二十組 志鳥 友海

旧・一年 二十四組 小林 由衣

旧・二年 二組 北川 真帆

旧・二年 十一組 戸崎 優翔

旧・二年 十五組 栃木 優太

旧・二年 十八組 田崎 明優美

旧・二年 二十組 佐久間 仁美

旧・二年 二十五組 手塚 美唯

【二年間の反省と最上級生になる抱負】

わがホームルームの紹介

三年・二年・一年

29

委員会・部活動報告

ホスピタリティコミッティ・ライブラリーコミッティ・クリーンアップコミッティ・
茶道・華道・書道・理科・服飾手芸・囲碁将棋・弓道・演劇・吹奏楽・合唱・硬式野球・サッカー・卓球・水泳・
男女バレー・男女硬式テニス・ソフトテニス・バドミントン・バスケット・柔道・剣道・スポーツチャンバラ・
応援団・チアダンス・インターアクトクラブ・百人一首・プレゼンデイト・パティシエ・軽音楽・陸上競技・
駅伝・日本音楽・体操・そば打ち・YouTube

55

附属中コーナー

この一年間のおもな活躍・クラス紹介・行事紹介・作品集　コンクール入賞作品・校内読書感想文コンクール
入賞作品・一年間の反省と進級にあたっての抱負・写真で見える中学校生活・部活動紹介・立志式記念講演

70

宇都宮共和大学・宇都宮短期大学コーナー

宇都宮共和大学／シテイライフ学部　子ども生活学部

イベント・トピックス・卒業生メッセージ・就学支援・スカラシップ

宇都宮短期大学／音楽科・人間福祉学科・食物栄養学科

91

教育実習生、母校の教壇に

.....

英	語／文教大学	平沢	直紀
理	科／東洋大学	藤田	美羽
商	業／山梨学院大学	関根	智大
音	楽／東京藝術大学	早川	愛

令和二年度 生徒会報告

.....

主な大学合格者数一覧（平成二十四年三月～平成三十一年年三月）

.....

主な就職内定状況（令和二年度）

.....

編集後記

編集委員長・川邊 さくら

.....

校史と校章



書道部によるパフォーマンス(野外ステージ)

創立120周年記念 学校祭 11月2日・3日



生活教養科ファッションショー(須賀栄子記念講堂大ホール)



音楽科によるオペレッタ上演(須賀栄子記念講堂大ホール)



展示コーナー(教育会館)



軽音楽部(野外ステージ)



応援団(野外ステージ)



生活教養科(野外ステージ)

❖写真部作品❖



『祈りの場所』 2年9組 新家 梓



『振り返って』 3年9組 伊佐岡 徳真



『桜華』 2年15組 須藤 大智



『青空に見参』 2年9組 新家 梓



『スピード全開』 1年4組 峰崎 凜



『努力の証』 1年22組 神山 瑠南

論説

「MICE未来都市・宇都宮」への期待

校長 須賀英之



宇都宮駅東口にコンベンション施設

JR宇都宮駅東口に二〇二二年秋、国際的なコンベンション会場が開業します。地上四階建ての建物に二〇〇〇名収容の大ホール、七〇〇席の中ホール、十三の大小会議室を備えた宇都宮市の施設です。隣接地では、都市ホテル、商業施設、超高層マンションや高機能病院などの民間開発もすでに始まっています。

二〇二三年には、新規路線としては全国初の次世代型路面電

車 (Light Rail Transit) が、芳賀町から清原工業団地を通じてJR宇都宮駅に乗り入れます。LRTはその後、駅西側に抜け、駅前大通りを経由し、桜十文字交差点から大谷方面に延伸する計画です。本校への通学も、大いに便利になることでしょう。

私は日本興業銀行産業調査部に勤務していた一九八〇年代後半に、国鉄清算事業団用地を活用した新都市拠点整備事業として当地区の開発構想にかかわり、本校に転じた後も、この開発やLRTについての宇都宮市の計画策定の委員を務めてきました。以来、約三十五年を経て、ようやく実現することになり、個人的にも感慨無量です。



宇都宮市ホームページより

幕張新都心のまちづくり

銀行員当時、私が担当していた幕張メッセ（千葉市）は、一九八九年に開業した日本最大のコンベンション・見本市会場です。

その運営主体である日本コンベンションセンター（株）は、千葉県・市・地元経済界のみならず経団連会長の旗振りのもと、その名の通り、オール財界ベースの協力体制により、開業三年半前に設立されました。皆さんが東京駅からデイズニールゾート（舞浜駅）に行く際に乗る京葉線が開通していなかった時代、幾多の困難を乗り越えて、こけら落としとして東京モーターショーの誘致に成功し、史上最高の一九二万人の来場者を迎えたことは、良い思い出です。

一九七三年に埋め立てが始まり、それまで草ぼうぼうで水たまり以外には何もなかった広大な土地に、幕張メッセの開業を契機として、IBM、BMWなどの外資系企業オフィスや超高層マンション、放送大学・神田外語大学、イオンモール、マリンスタジアムなどが立ち並ぶようになりました。

日々二十三万人が活動し、年間二七〇〇万人が訪れる都市が、コンベンション施設の開業後、三十年を経て実現したのです。



千葉市ホームページより

MICE都市・宇都宮の可能性

近年、こうしたコンベンションの誘致による地域の産業・観光振興が注目されており、MICEと称しています。

MICEは、各種の会議（Meeting）、企業の報奨・研修旅行（Incentive Travel）、国際機関・学会が行う国際会議

（Convention/Conference）、展示会・イベント（Exhibition/Event）の頭文字を使った造語です。世界中でMICEに関心が集まっており、政府も観光局（国際観光振興機構 JNTO、Japan National Tourism Organization）により、国際的なコンベンションの誘致や開催支援に積極的に取り組んでいます。

幕張メッセの経過を考えると、北関東最大の都市であり栃木県の玄関口である宇都宮市には、これから大きな発展の可能性があり、その期待も膨らみます。

宇都宮は東京から新幹線で五十分の近さにあり、県内に自動車・航空機、医療・医薬・ヘルスケア、観光などの産業集積が多く、三つの大病院があるなど、ビジネスの会議や学会の需要があるからです。また、後背地には日光・鬼怒川・那須塩原・益子・大谷など、コンベンションに訪れたビジネスマンや外国人が会議の後に楽しめる自然や文化・食の豊かな魅力ある観光地が多いのも理由です。

DMOの役割

しかし、宇都宮にこうした潜在的な力があるだけで、黙っていてもコンベンションが開催できるわけではありません。県全体で官民挙げて、その誘致体制を整える必要があります。昨年、高崎市に「Gメッセ群馬」という大規模な施設が開業するなど、近県との競争が激化することも予想されています。

大規模な会議を宇都宮に迎えるには、駅東口のコンベンション施設と栃木県総合文化センター・宇都宮市文化会館・マロニエプラザ（展示場）・近郊のホールとの相互利用、観光や食などのアフターコンベンション、それらをつなぐ交通手段、ホテルや会議運営に係る各種のサービスなど、地域の総合力が勝負

となるのです。

地域の産業集積に係るコンベンションや医療福祉系の学会等
栃木県の強みを生かした誘致には、行政の経済的な支援も欠か
せません。

こうしたMICEを、観光も含めて地域全体で有する観光地
域まちづくり法人 (Destination Management/Marketing
Organization) は、全国で設立が相次ぎ、現在、観光庁に登録
するDMOは全国で一七四件あります。しかし、県内では栃木
観光物産協会、DMO日光、大田原ツーリズムの三つに過ぎま
せん。

栃木県にも広域的に連携した官民協働の新たな組織を設立し
て、そうした機能を一元的に発揮することを私は期待していま
す。DMOは、地域の魅力を訴求し、また、会議とアフターコ
ンベンションを通じて地域経済の活性化に貢献する、つまりM
ICE主催者と地域産業の懸け橋になるからです。

DMOの要は財源と人材

DMOには、安定的な財源の確保が欠かせません。米国フロ
リダ州オレンジ郡では、民間事業者自らの要請により課した宿
泊目的税によりDMOが運営されています。また、MICEの
マーケティングを行う人材は、地元の大学で育成しています。
こうして、人口二十八万人のオーランド市を内包するオレンジ
郡(人口一三九万人)に、全米第一位の年間七五〇〇万人の訪
問客を迎えるようになりました。

生徒の皆さんには、こうした明るい展望のもとに、日々、英
語をはじめとする専門能力を高め、コミュニケーションやホス
ピタリティに関する優れた資質を磨いていくことを期待してい

ます。

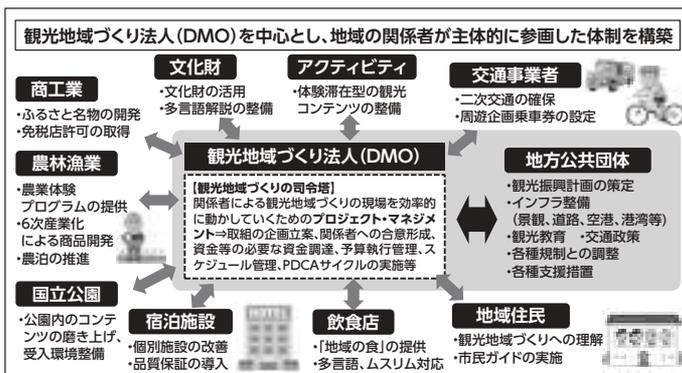
コロナ禍により、かえってフェイス・トゥ・フェイスのコミュ
ニケーションの大切さが見直されています。5Gによる双方向
の遠隔配信技術進捗もあり、新しい時代に対応したコンベン
ション需要が見込まれます。

県都の新幹線駅に直結した利便性の高い最新の設備を備えた
宇都宮駅東口の会議場が、宇都宮のまちづくりや県域全体の産
業に大きな効果をもたらすことを願っています。

●プロフィール

一九五五年生まれ。私立武蔵中
学・高等学校卒、東京大学経済学
部卒。日本興業銀行(現みずほ銀行)
人事部副調査役、産業調査部主任
部員、本店営業部副部長等を歴任し、
二〇〇一年一〇月に須賀学園に戻
る。現在、須賀学園理事長、宇都
宮共和大学・宇都宮短期大学学長
を兼任。

栃木県次期プラン策定懇談会会
長、栃木県文化振興審議会会長
栃木県私立学校審議会委員、栃木
県交響楽団会長、宇都宮まちづく
り推進機構理事長、うつのみや産
業振興協議会会長、栃木銀行社外
監査役などの公職も務める。



観光庁ホームページより

「世界水準」で学ぶ!

～ A WORLD - CLASS education ～

宇都宮短期大学附属高校のグローバル教育

アメリカを中心とした欧米70大学の

「海外大学進学協定校推薦制度(UPAS)」に加盟しています。

この協定校推薦制度は、優秀な日本人学生を受け入れることで、海外各大学が学内において多様性を高めることを目的とした制度で、近畿日本ツーリスト首都圏国際交流センター(UPAS日本事務局)が運営します。この制度を用いることで、協定校各大学への進学が容易になり、生徒に海外進学の手続きを簡便にする制度となっています。

短期・中期・長期留学や海外大学進学に特化した制度で、奨学金制度も充実しており、これまで多くの学生が利用しています。



University of York



University of Sydney



Auburn Montgomery University

協定大学(アメリカ)	奨学金タイプ	協定大学(アメリカ)	奨学金タイプ
Adelphi University (アデルファイ大学)	②	Pacific Lutheran University (パシフィックルーセラン大学)	①
American University (アメリカン大学)	②	Queens College, CUNY (ニューヨーク市立大学クイーンズ校)	①
Arizona State University (アリゾナ州立大学)	①	Richard Bland College of William & Mary (ウィリアム&マリー大学リチャードブランカレッジ)	①
Auburn Montgomery University (オーバートン大学モンゴメリー校)	②	Saint Peter's University (セントピーターズ大学)	①
Auburn University (オーバートン大学)	②	San Francisco State University (サンフランシスコ州立大学)	②
Benedictine College (ベネディクティンカレッジ)	②	Southern New Hampshire University (サザンニューハンプシャー大学)	②
California Lutheran University (カリフォルニアルーセラン大学)	②	Tennessee Tech University (テネシー工科大学)	②
Chestnut Hill College (チェストナットヒル大学)	①	Texas Wesleyan University (テキサスウェスリアン大学)	②
Cleveland State University (クリーブランド州立大学)	②	University of Central Florida (セントラルフロリダ大学)	①
College of Mt. Saint Vincent (マウントセントビンセント大学)	②	University of Dayton (デイトン大学)	②
Dean College (ディーンカレッジ)	②	University of Idaho (アイダホ大学)	②
Emporia State University (エンボリア州立大学)	②	University of Illinois Chicago (イリノイ大学シカゴ校)	②
Fisher College (フィッシャーカレッジ)	②	University of Kansas (カンザス大学)	②
Florida International University (フロリダ国際大学)	②	University of La Verne (ラバーン大学)	②
Grand Valley State University (グランドバレー州立大学)	②	University of Massachusetts, Boston (マサチューセッツ大学ボストン校)	②
Hawaii Pacific University (ハワイパシフィック大学)	②	University of Massachusetts, Dartmouth (マサチューセッツ大学ダートマス校)	②
Hesston College (ヘストンカレッジ)	②	University of Massachusetts, Lowell (マサチューセッツ大学ローウェル校)	②
Indiana University-Purdue University Indianapolis (インディアナ大学)	②	University of Mississippi (ミシシッピ大学)	②
Iowa Wesleyan University (アイオワウェスリアン大学)	②	University of New Hampshire (ニューハンプシャー大学)	①
LIU Brooklyn University (ロングアイランド大学ブルックリン校)	②	University of Pacific (セツワック大学)	②
LIU Post University (ロングアイランド大学ポスト校)	②	University of South Carolina (サウスカロライナ大学)	②
Louisiana State University (ルイジアナ州立大学)	②	University of St. Thomas (セントトーマス大学)	②
Mercer University (マーサー大学)	②	University of Utah (ユタ大学)	②
Oklahoma City University (オクラホマシティ大学)	②	University of Vermont (バーモント大学)	②
Pace University (ペース大学)	①	University of Wisconsin, Oshkosh, Fox Cities (ワイソコンシン大学オッシュコシュ&フォックスシティ)	②

協定大学(カナダ)	奨学金タイプ	協定大学(オーストラリア)	奨学金タイプ
Simon Fraser University (サイモンフレイザー大学)	①	Griffith University (グリフィス大学)	①
University of Manitoba (マニトバ大学)	①	University of Sydney (シドニー大学)	①
		University of Wollongong (ウーロンゴン大学)	①
協定大学(イギリス)	奨学金タイプ	The University of Newcastle (ニューキャッスル大学)	
University of York (ヨーク大学)	①	Deakin University (ディーキン大学)	①
Birmingham City University (バーミンガムシティ大学)	①	La Trobe University (ラトロブ大学)	①
The University of Northampton (ノーサンブンプン大学)	①	University of Canberra (キャンベラ大学)	①
University of Essex (エセックス大学)	①	University of Adelaide (アデレード大学)	①
City, University of London (ロンドン大学シティ校)	①	University of South Australia (南オーストラリア大学)	①
University of Westminster (ウェストミンスター大学)	①		
University of Bristol (ブリストル大学)	①		
University of Brighton (ブライトン大学)	①		
University of Portsmouth (ポーツマス大学)	①		

奨学金タイプ

- ① 合格者全員に支給される奨学金
- ② 成績・面接・人数・期間制限などがある奨学金
- ③ 学部進学後に成績などによって支給される奨学金

特集 2

創立120周年記念学校祭～普通科展示コンテスト～

須賀学園創立120周年を記念した中学・高校合同の学校祭が11月2日・3日の2日間にわたり行われました。新型コロナウイルス感染予防を徹底するため規模は縮小されたものの、各科・各部ごとに日頃の学びの成果を披露することができました。

また、新たな試みとして普通科展示コンテストが実施され、結果は次の通りとなりました。

第1学年／掲示物の部

- 1位 1組 (198票)
「ポップカルチャーについて」
- 2位 7組 (84票)
「人類とウイルスの戦い(ウイルスの分類)」
- 3位 3組 (62票)
「いま私たちが考えるべきこと(SDGs)」

第1学年／モチーフ(造形物)の部

- 1位 進学コース (292票)
「人類とウイルスの戦い」
- 2位 応用文理コース (289票)
「石鹸づくり・体験コーナー」
- 3位 中高一貫コース (147票)
「ポップカルチャーについて」

第2学年／掲示物の部

- 1位 1組 (106票)
「人類と医学」
- 2位 15組 (84票)
「ピタゴラスイッチ」
- 3位 3組 (77票)
「最新医療について」

第2学年／モチーフ(造形物)の部

- 1位 応用文理コース (440票)
「ピタゴラスイッチ」
- 2位 進学コース (134票)
「SNSとの共存」
- 3位 特進コース (108票)
「最新医療について」

特集 3

調理科講師・安野耕造先生が「厚生労働大臣表彰」受賞



本校調理科講師の安野耕造先生が、長年にわたって調理師養成・教育に貢献されたことにより、「厚生労働大臣表彰」を受賞しました。

トピックス

京都大学をはじめ、
難関大学に多数合格！

昨年三月、多くの先輩方が京都大学をはじめとする難関大学に合格しました。先輩たちは高い志のもと、常に自己の現状を分析し、学習・生活両面において試行錯誤を重ねながら、自分に最適な受験環境を作っていたとのこと。

卒業生の力強い歩みを励みに、現役高校生諸君も頑張りましたよ。

一日体験学習に
多くの参加者が来校！



今年度の本校一日体験学習は、新型コロナウイルス感染症予防を徹底し、常に安全・安心を心がけながら実施することができました。中学生たちは、緊張した面持ちで正門をくぐり、教室に足を運びました。各科・コースの

学習内容や進路紹介では、将来の目標に向かって前進する普通科各コースに学ぶ生徒の発表をはじめ、生活教養科の専門分野における学習内容や情報商業科のインターンシップなどの紹介、レストランを経営している調理科の先生方のデモンストラレーション、音楽科の演奏など、総合学園ならではの独自の説明が練り上げられました。部活動の紹介においても、趣向を凝らしたパフォーマンスに、中学生は釘付けになっていました。



SDGs「エコロジーオンライン」
セミナー開催！



普通科・情報商業科一年生を対象とするSDGs「エコロジーオンライン」セミナーを実施しました。

SDGsの実現のために世界的に活躍されているNPO法人「エコロジーオンライン」理事長上岡裕先生、事務局長上岡七生美先生をお招きし、「地球が抱える問題を解決するため持続可能な開発目標（SDGs）」について特別授業をしていただきました。

私たちはこの特別授業を通して、一人ひとりが自分のこととして受け止め、将来につなげていくことの大切さを学ぶことができました。

在校生の活躍

手を差しのべる勇氣

本校三年二十四組の坂本羽翼君（調理科）が十一月十一日（水）の朝八時頃、登校途中に自動車と自転車の接触事故を目撃しました。その時、自動車は停止せずに立ち去ってしまいました。坂本くんはその自動車を四キロメートルほど自転車で追跡し、追いついたあと、運転手を説得して事故現場まで連れ戻してくれました。

そのあと被害にあった方から「事故について警察に届けることができ、壊れた自転車についても賠償してもらおうことができ大変感謝している」とお礼のお言葉をいただきました。坂本君の勇氣ある行動はとても素晴らしい、模範的だと思います。

今後目の前で困っている人がいたときには、坂本君のように手を差しのべる心づもりを常に持っていきたいと本校生徒は強く自覚しました。



「調理科おせち」を

児童養護施設に寄贈

十二月三十日、本校調理科と東武トップツアーズでレシピを考案した「とちらぶ夢おせち（三段重）」十個を、生徒が児童養護施設「きずな」へ寄贈しました。

このおせちは、昨年夏から本校調理科生徒が地産地消をテーマに、普段の研鑽の成果と本校生徒の感性、さらに地元愛を込めたメニューを企画製作してきました。その後、東武ホテルグランデ小口裕幸料理長（調理科卒業）からのアドバイスをいただき完成したものです。

代表して施設を訪れた調理科三年生から「栄養満点のおせちで来年もコロナに負けず元気な一年を過ごしてください。」との言葉を添えて、おせちを手渡しました。



サッカー部の活躍



サッカー部は、映像分析の専門講師を招いてのオンライン講義など多様な活動を行ってきました。その中でも部員それぞれが様々な方法でトレーニングする姿を配信した映像は国内外の多くの方々に視聴いただき、あたたかいコメントをいただきました。

また、一月に行われた全国高校サッカー選手権大会栃木大会では、決勝戦にて矢板中央高校にPK戦で敗れ、惜しくも準優勝という結果でしたが、これからも全国大会出場を目指し、多くの方々から元気を届けられるよう活動してまいります。応援のほどよろしくお願いたします。

うちで踊ろう
宇短附チャンネル





◆ ◆ 校史と校章 ◆ ◆

須賀学園は、昨年11月3日で創立120周年の記念日を迎えました。今後、ますます本学園の教育実践が充実し、その取組が広く内外に示されることを願っています。

思えば、本学園は、明治33年(1900年)に須賀栄子先生によって創立されました。栄子先生は、女子に最も喫緊な技芸を教授され、その時代と境遇に順応すべき実践的婦人の養成を本学教育の趣旨となし、共和裁縫教習所から明治34年共和裁縫女学校、大正13年宇都宮須賀女学校、昭和7年宇都宮女子高等職業学校と校名を改め、学校を発展させてゆかれました。その後を第2代校長の須賀友正先生が受け継がれ、昭和21年須賀高等女学校、同23年学制改革により宇都宮須賀高等学校と校名変更をし、さらに同42年宇都宮短期大学(音楽科)を新設し、現在の宇都宮短期大学附属高等学校となりました。

その友正先生の後を引き継がれたのが、第3代校長の須賀淳先生(須賀学園学園長)です。先生は、昭和58年宇都宮短期大学附属中学校(中・高6か年一貫教育)を併設され、宇都宮共和大学の開学、宇都宮短期大学の学科増設、須賀学園教育会館および第2グラウンドの新設と、学園を大きく発展されました。

そして、現在、平成27年4月に第4代校長に就任なさった須賀英之先生のもと、第3体育館と硬式野球場が新設されました。また、一昨年4月には宇都宮短期大学に食物栄養学科が開設されました。

本校の生活目標である「一人は一校を代表する」という言葉(本誌の巻頭を参照)の意味は、本校生徒の一人一人が、それぞれに自らの価値を知り、その価値を自覚して生活することこそ人間の大きな喜びにつながり、幸福への第一歩にもなるというものです。ここには、創立者須賀栄子先生が掲げられた「全人教育(人間形成の教育)」の精神が、120年かわらずに脈々と生きついでています。

また、現在に至るまで、本校にはいくつかの校章がありましたが、現在の校章は、カタカナの「ス」の文字を3個組み合わせ、図案化した須賀家の合印で、その中央に「高」の文字が挿入されています。(合印とは、昔戦場で敵味方が入り乱れて戦うとき、その背に負って、敵か味方かが見分けられるようにしたものです。)これは、須賀家の家系譜からデザインして第2代校長の須賀友正先生が校章と定められたもので、文字は金色、生地は純白色ですっきりとしており、いかにも清潔な感じのする校章です。現校旗と同じ、昭和34年11月3日に、創立60周年記念事業の一環として制定されました。



『ボールを追いかける戦士』

1年4組 屋代 楓